

平成17年度 定期総会の概要

平成17年度「北海道へき地・複式教育研究連盟」の定期総会は、5月10日(火)9時30分よりホテルライフオート札幌において全道14地区の代議員の出席を得て開催されました。

この総会にはご来賓として、北海道教育庁生涯学習部長:真田雄三様(代理:秋田茂教育指導監)、北海道小学校長会長:菅恵一様、道へき・複連OB会長:岡田義明様をお迎えし、ご挨拶をいただきました。その後、網走、留萌の代議員の議長により総会次第に従って議事が進められました。

◆主な総会内容

- 1. 業務報告
(1) 平成16年度会務報告
①事務局(会務報告、一般経過報告、その他)
②総務部 ③研究部 ④大会部 ⑤財政部
(2) 平成16年度組織検討委員会報告
(3) 平成16年度会計決算報告
(4) 平成16年度会計監査報告
2. 議事
(1) 平成16年度各部会務報告承認に関する件
(2) 平成16年度会計決算報告並びに監査報告承認に関する件
(3) 連盟規約の改廃に関する件
(4) 平成17年度活動方針並びに各部活動計画について
①事務局 ②総務部 ③研究部 ④大会部 ⑤財政部
(5) 平成17年度会計予算に関する件
(6) 第54回全道へき地複式教育研究大会後志大会について
(7) 第55回全道へき地複式教育研究大会根室プレ大会について
4. 感謝状贈呈

平成16年度感謝状贈呈者

Table with 4 columns: Position, Name, Role, Name. Rows include 委員長 鈴木 徳夫氏, 副委員長 林 信之氏, etc.

本連盟の活動に貢献されました上記の方々へ梅木委員長より感謝状が贈呈されました。

平成17年度 活動方針・各部計画

◇◇◇ 基本方針・具体的内容 ◇◇◇

- 1. 「へき地性」「小規模性」「複式形態」の3特性を生かした教育の充実を図るための研究活動をより一層強力に推進する。
(1) 第7次長期5か年研究推進計画第2年次の研究に取り組む。
(2) 課題別・共同研究の深化と拡充に努める。
(3) 第54回全道へき地複式教育研究大会後志大会の成功に向け取り組む。
(4) 第55回全道へき地複式教育研究大会根室プレ大会への取り組みの推進。
(5) 第21回北海道へき地複式教育実践研究発表大会の充実を図る。
(6) 全道、各地区の研究成果の還元
2. 組織の強化と充実に努める。
(1) 各地区へき・複連との連携、組織の強化。
(2) 事務局業務の効率化と情報・要請活動の活発化を図るとともに、組織体制の改善について検討する。
(3) 各部活動の連携を密にして、執行体制の見直しを図り、その強化に努める。
(4) 未加盟校及び非複式のへき地小規模校の加盟促進を図る。
(5) 組織検討委員会を継続設置し、組織体制の改善・財政上の諸課題の解決を図る。
(6) 連盟OB会との連携を図る。
(7) 適切な予算執行に努める。
3. 教育条件の整備と充実に努める。
(1) へき地・小規模・複式学級を有する学校の一層の条件整備を進める。
(2) 教職員の待遇改善を図る運動を進める。
(3) 「へき地学校等級別指定見直し」にかかわる調査・要望活動を進める。
(4) へき地・小規模・複式学級を有する学校及び地域の課題等の実態把握に努め、その対策について検討を図る。
4. 関係機関・関係団体との連携を一層強化する。
(1) 道教育委員会、道立教育研究所、道小、道中、道P連、道教育大学各校、北海道教育大学へき地教育研究センター、全へき連等との連携を密にして、研究活動の深化や条件整備、待遇改善に努める。
(2) 「全国へき地教育新聞」への寄稿、購読の拡大に協力する。
(3) 各関係機関、関係団体との成果、資料の交流を図る。